

Kyoto Prefecture Hospital Association News

第2号

2013年5月

京都府病院協会ニュース

《発行所》京都府病院協会 《発行人》野口雅滋 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東栂尾町6 京都府医師会館内
TEL 075-354-6104 FAX 075-354-6074 <http://www.fubyokyo.kyoto.med.or.jp/>

会長就任 ご挨拶

京都府病院協会会長 野口雅滋



本年4月2日の総会で会長に選任されました、野口です。京都桂病院の院長として、京都府病院協会の会務担当理事に加えていただいて10年目を迎えます。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

京都府病院協会は昭和26年4月26日、京都病院長会として発足しています。昭和39年に京都私立病院協会が分離独立した後、昭和41年6月1日に京都府病院協会と名称を改めて今日にいたっています。本会の目的は「病院の医療施設の改善と医療内容の向上をはかり、かつ病院相互の連絡を密にすること」で、京都府内の官公立私立の病院の代表で組織されています。現在の会員病院数は58病院です。設立の目的を達成するための大切な事業として、毎年病院長研修会が行われています。先進的な取り組みをされている病院を見学し、病院幹部からその理念を直接伺う事

ができる非常に貴重な機会です。しかも、この研修会は一泊二日で行われますので、参加している病院長達が現在の医療体制の問題点やいかに改善すべきかの理想について、夜遅くまで語り合えるのも魅力の一つです。現地の美食を味わうこともできます。昨年は改装なったところの伊勢赤十字病院の見学に伺いました。今年は松本の相澤病院に伺う予定です。稼働したばかりの陽子線治療センターも見学させていただく予定になっています。是非とも多くの院長先生にご参加いただけますようお願い申し上げます。

今年度は、総会でお認めいただきましたように、京都府病院協会の法人化にむけて取り組んで参ります。京都府病院協会の会員病院は地域の住民に安心・安全で信頼にたる質の高い医療を提供し、行政からも厚い信頼を得ています。ところが、会員58病院中、500床以上が7病院、200床～500床未満が18病院と規模の大きい病院の占める比率が比較的高い団体であること、提供している医療が急性期中心であることのため、行政も京都府病院協会を通じてではなく各病院に直接対応を依

頼して問題の解決を図っているのが実情です。今般注目を集めている中国の鳥インフルエンザ(H7N9)が万一日本国内で流行しただとしても、その対応は今まで通り、京都府病院協会加盟の各病院に個別に依頼されるものと思います。当然、各病院での対応も非常に大切ですが、京都府病院協会として統一感のある対応をとることも考えてよいのではないかと思います。行政や他の医療団体に組織として意見を発信するためにも、法人格を取得し足場を固める必要があると考えています。近畿における病院団体で法人格を持つていないのは、兵庫県病院協会と京都府病院協会だけになりました。法人化の実現には種々の障害もあろうかと思えます。会員病院の先生方の御協力を得まして、何とか実現したいと思っております。何卒、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

京都私立病院協会と交互に担当している京都府病院学会も今年度は京都府病院協会が担当です。たまたま学会長を私が担当しています。今年度の要望演題は「災害への対応」です。6月9日(日)に池坊短期大学で開催されます。今年度も盛会に行われますよう、ご協力をお願い申し上げます。京都私立病院協会とも緊密な連携を取りながら、京都府民に安心・安全で信頼に足る医療を提供し続けられますよう、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

京都府病院協会 新役員紹介

(任期:2013年4月2日～2015年3月31日)

会長 野口 雅 滋 (京都桂病院)

副会長 依田 建 吾 (京都第一赤十字病院)

三木 真 司 (三菱京都病院)

会務担当 香川 恵 造 (福知山市民病院)

梶田 芳 弘 (公立南丹病院)

北 堅 吉 (日本パプテスト病院)

日下部 虎 夫 (京都第二赤十字病院)

杉山 博 (国立病院機構宇多野病院)

内藤 和 世 (京都市立病院機構京都市立病院)

中嶋 俊 彰 (済生会京都府病院)

中村 孝 志 (国立病院機構京都医療センター)

能見 伸 八郎 (社会保険京都病院)

宮野前 健 (国立病院機構南京都府病院)

山下 俊 幸 (府立洛南病院)

三嶋 理 晃 (京都大学医学部附属病院)

福居 顯 二 (京都府立医科大学附属病院)

中島 徳 郎 (済生会京都府病院)

齋藤 信 雄 (N.T.T西日本京都病院)

監事

平成25年度定時総会開催 次期会長に野口雅滋氏(京都桂病院)を選出

平成25年度の定時総会を、4月2日(火)、ホテル日航プリンス京都にて開催しました。当日は、会員病院より32名が参加(委任状19名)。平成24年度の会務報告・決算ならびに平成25年度の事業計画・予算のほか、新役員の選出に関する議案が上程され、賛成多数で可決承認されました。

総会終了後に開催した懇親会では、阿部光幸顧問の乾杯のご発声により開宴し、終始和やかな雰囲気が進み、盛会裏に閉会となりました。

総会の冒頭、梶田前会長が挨拶に立ち、在任期間中の会務運営への協力に対し謝辞を述べるとともに、次期執行部に対しても変わらぬ支援を求めました。その後、議事に移り、梶田前会長を議長に選出し、平成24年度の会務報告ならびに決算を上程、賛成多数で可決承認されました。

野口雅滋新会長他、新任理事2名を加えた新執行部を選出

第3号議案では新役員の選出に関する件が上程され、次期会長に野口雅滋氏(京都桂病院)が選出されました。また、副会長には依田建吾氏(京都第一赤十字病院、

再任)、三木真司氏(三菱京都病院、新任)が就任した他、理事13名、監事2名の計18名の新役員の選出についても、賛成多数で承認されました。任期は平成27年3月末日までの2年間となります。なお、新役員の顔ぶれは1ページに掲載。今期、新任役員として選出されたのは、北 堅吉先生(日本バプテスト病院)、杉山 博先生(国立病院機構宇多野病院)の2名、さらに、退任される役員は、小西哲郎先生、福井 潔先生の2名の先生方です。

法人化を視野に検討を開始

次期会長に選出された野口雅滋新会長から平成25年度の事業計画(案)について説明、可決多数で可決承認されました。野口新会長は基本方針として、京都府病院協会の法人化について言及。地域に即した医療提供体制が求められる中、今後、京都府民への安全・安心で信頼に足る医療を提供していくためにも、本協会として責任ある組織へと脱皮を図るべきではないかと指摘しました。そのうえで、拙速な対応は避けつつも、今年度中に一般社団法人化に向けた準備に取りかかりたいと述べました。

当日、承認された議案は以下の5議案。

- 第1号議案…平成24年度京都府病院協会会務報告
に
関し承認を
求める
件
- 第2号議案…平成24年度京都府病院協会歳入歳出
決算に
関し承認を
求める
件
- 第3号議案…京都府病院協会役員
の選出に
関し承認
を求める
件
- 第4号議案…平成25年度京都府
病院協会
事業計画
に
関し承認
を
求める
件
- 第5号議案…平成25年度京都府
病院協会
歳入歳出
予算に
関し承認
を
求める
件

なお、第2号議案の平成24年度決算については、監事の齋藤信雄氏より監査報告が行われ、「適正なもの」と認められるとの報告が行われました。また、平成25年度の会費については、前年同額の1施設30,000円を徴収することも承認されました。

平成25年度 京都府病院協会事業計画

1 会務担当理事会及び総会

- 1) 本会会務の中核として、毎月1回・第一火曜日を定期開催日とし、会員病院の状況、要望を踏まえ、本会業務の推進を図ります。
- 2) 総会は4月第一火曜日に開催し、前年度事業報告並びに会計決算について審議し、承認を得るとともに、当該年度の役員を選任、事業計画及び会計予算案、その他について審議し、承認を得ます。

2 今年度事業計画

- 1) 新春懇親会を1月の早い時期に開催し、会員とともに、行政、関係諸団体の長等を招いて、相互の親睦と連携の強化を図ります。
- 2) 行政ならびに医療関係団体との連携を強化します。
 - ① 医療制度改革に向けた対応の共同の取り組み
 - ② 休日、急病、救急医療体制への協力と対策
 - ③ 公私の垣根のない病病連携、病診連携の強化と充実
 - ④ 病院医療のあり方についての意思疎通と共同事業の展開
 - ⑤ 医療に関する地域住民への啓発活動への参加
 - ⑥ 京都病院学会、京都医学会への積極的取り組みと協力
- 3) 近畿病院団体連合会、日本病院会及び全国公私立病院連盟などの活動へ参加します。
- 4) 関係団体への各種委員会、協議会、審議会等への委員の派遣及び関係諸団体との協力、連携を強化します。
- 5) 各種研修会の開催並びに共催の実施
- 6) 病院長研修会の実施
- 7) 病院職員の資質向上のための諸施策の立案、実施
- 8) 看護師等医療従事者の確保対策事業の推進

平成25年度 会費について

平成25年度の会費については、去る4月2日(火)に開催されました「平成25年度定時総会」におきまして、以下のとおり承認されましたので、お知らせいたします。近日中に、会員病院宛にご請求させていただきますので、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

平成25年度 会費 30,000円

- 9) 京都府民の医療の充実のための医療提供体制の確立
- 10) 第48回京都病院学会の開催
6月9日(日)に池坊短期大学において開催します。本年は京都府病院協会が主務であり、本会会長の野口雅滋先生が学会長です。
- 11) 一般社団法人化へ向けた準備を進めます。
- 12) 京都府病院協会ニュースを発行し、会員病院間の意思疎通を図ります。
- 13) メーリングリストの活用により、迅速な病院長間の情報共有・意見交換に努めます。
- 14) 府病協ホームページの内容の充実、活用により、会員及び関係団体に対して情報提供に努めます。
【URL <http://www.fubyokyo.kyoto.med.or.jp>】

平成24年度近畿病院団体連合会 第2回委員会

「TPPと医療」「入院基本料の見直し」等について意見交換

平成24年度の近畿病院団体連合会(以下近病連)の第2回委員会が、3月19日(火)、大阪新阪急ホテルにおいて、大阪府私立病院協会の主管で開催されました。京都府病院協会からは、野口、依田両副会長と事務局が出席しました。委員会当日は協議事項3題、報告・情報提供4題について議論された他、基調講演では、相澤病院(長野県松本市)の理事長、相澤孝夫氏より、「これからの時代を見据えた相澤病院の経営戦略」と題して講演が行われました。



「TPPと医療」について

京都私立病院協会より提案。増え続ける医療費に対し、持続可能な医療・介護提供体制の実現に向けて検討すべき時期にきている。交渉参加にあたっては、①国民皆保険制度の堅持②混合診療の全面解禁禁止が絶対条件とし、医療界からも今後の医療における効率化、重点化の観点からの提案も必要ではないか、との指摘がありました。

各府県からは、「概ね賛同」との意見が出されましたが、今後の交渉に未確定な部分が多いこと等から、現段階では近病連としては統一見解は示さず、今後の状況を見ながら対応することとなりました。

入院基本料の見直しについて

京都私立病院協会より提案。現行の入院基本料は「看護配置基準ありき」の点数設定となっていると指摘し、中医協でも診療側委員が見直しを求めているが、近病連としても、中医協の診療側委員を後押しするという意味でも、また、次期診療報酬改定に向けて早めに動き出すという意味でも、見直しを強く求める立場を表明しておく

べきではないか、との提案がなされました。各府県からはチーム医療という観点からも看護職員数のみで評価されていることに批判の声が相次ぎ、今回の提案に対し「賛成」の声が多く出されました。去る2月7日に日本病院団体協議会など、12名の連名で厚労省宛に提出された「要望書」の内容をもとに、近病連としても要望書を出すこととなりました。なお、近病連の要望書は別掲のとおりです。

基調講演

「これからの時代を見据えた相澤病院の経営戦略」

社会医療法人財団慈泉会相澤病院 理事長 相澤孝夫氏

基調講演では、慈泉会相澤病院理事長の相澤孝夫先生より、「これからの時代を見据えた相澤病院の経営戦略」と題して講演がありました。相澤先生は講演の中で、地域における医療・介護の充実に向けた経営戦略を推し進める中で地域連携ネットワークの強化やマンパワーの育成に取り組んできたことと説明されました。特に、院内ブレンドとしての経営戦略室の設置や最新医療機器の導入による高度医療への取り組みは必見で、現在では、地域のがん放射線治療の中核病院として、がん治療の最前線ともいわれる陽子線治療施設を建設中であることが紹介されました。

近病連発第24-6号
平成25年3月29日

厚生労働省保険局長
木倉 敬之 殿

近畿病院団体連合会
委員長 生野弘道

要 望 書

現在、中央社会保険医療協議会診療報酬基本問題小委員会において、入院基本料のあり方が検討されている。

この度、日本病院団体協議会より要望書が提出されていますが、近畿病院団体連合会としても重ねて要望する。

入院料(入院基本料・特定入院料等)における人員配置について

入院料(入院基本料・特定入院料等)における人員配置について、下記の考え方を導入することを要望する。

・現行の入院料は分類(40種類ほど)が細かすぎるうえに、通知において極めて微細な事項まで定められている。これらの分類は、医療必要度や入院目的に応じてグループ化するとともに算定要件等を簡素化することにより、誤解を生じない解りやすい制度とすべきである。

- ・医療機関の入院患者数、状態像、医療必要度、等は一定ではなく、日々変化するものである。臨床現場における医療必要度(リハビリテーション、日常生活動作援助、等を含む)の状況を数値化できるとともに、個々の医療機関にとって最適な人員配置を行える制度に変更すべきである。
- ・現行では看護師数により入院料が区分されている。しかし、チーム医療が主体となっている現状を鑑み、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリテーション職・MSW・PSW・医師事務作業補助者・看護補助者・医療事務等の多職種連携により入院料が決定されるべきである。
- ・これらのためには入院患者の医療必要度が数値化され、その累計により一定期間(6または12か月程度)に必要な職員配置数を示すことのできる方式を作成しなければならない。この方式の作成には十分な調査と分析を行い、客観的な理論構築が必要である。
- ・この方式により、超急性期(ICU・CCU・SCU・NICU等)、急性期、亜急性期/回復期、慢性期等、各病期における一定期間の適正な人員配置数を示すことができる。また、夜勤職員配置(看護師、看護補助者、等)にも応用できる。
- ・そして精神疾患、各種障害、周産期、児童・思春期等においても、この考え方の応用が可能である。

以上

近 畿 病 院 団 体 連 合 会

(社) 兵庫県民間病院協会	会長	吉田耕造
兵庫県病院協会	会長	守殿貞夫
(公社) 和歌山県病院協会	会長	成川守彦
(社) 奈良県病院協会	会長	今川敦史
(社) 滋賀県病院協会	会長	富永芳徳
(社) 滋賀県私立病院協会	会長	間嶋 孝
京都府病院協会	会長	梶田芳弘
(社) 京都私立病院協会	会長	真鍋克次郎
(社) 大阪府病院協会	会長	川合弘毅
(一社) 大阪府私立病院協会	会長	生野弘道

第48回 京都病院学会のご案内

今年も6月9日(日)、池坊短期大学にて第48回京都病院学会が開催されます。今回の学会は京都府病院協会の野口雅滋会長が学会長を務めます。開催概要は以下のとおりとなっておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

と き 平成25年6月9日(日) 午前9時～午後5時
 ところ 池坊短期大学(京都市下京区四條室町鶏鉦町)
 参加費 3,000円/人(演者・医療関係者)
 1,000円/人(一般参加者・学生)

◆要望演題

『災害への対応』

◆一般演題

医師、薬剤、看護、介護地域連携、放射線、臨床検査、臨床工学、リハビリテーション、栄養管理、事務

◆基調講演

「災害に強い病院を作る ～東日本大震災の経験から～」

福田幾夫氏
 (弘前大学大学院医学研究科胸部心臓血管外科教授)

◆特別講演

「スポーツとは何か？ ～民主主義からしか生まれない 反暴力の文化～」

玉木正之氏
 (スポーツ&音楽評論家)

【京都病院学会事務局 連絡先】

〒600-8411
 京都市下京区烏丸通四條下ル水銀屋町620番地
 COCON烏丸8階(京都私立病院協会内)
 TEL:075-354-8838
 FAX:075-354-8802
 MAIL:gakkai@khosp.or.jp

第48回

京都病院学会

日時 2013年6月9日(日) 午前9時～午後5時

会場 池坊短期大学(下京区四條室町鶏鉦町)

参加費 3,000円(学生1,000円)

学会長 野口雅滋(京都桂病院)

内容

要望演題・シンポジウム

「災害への対応」

基調講演

「災害に強い病院を作る～東日本大震災の経験から～」
 弘前大学大学院医学研究科 胸部心臓血管外科学講座 教授 福田 幾夫 氏

特別講演

「スポーツとは何か？」
 「民主主義からしか生まれない反暴力の文化～」
 スポーツ&音楽評論家 玉木 正之 氏

一般演題
 453題

災害への対応部門、医師部門、看護部門、介護地域連携部門、薬剤部門、放射線部門、臨床検査部門、臨床工学部門、リハビリテーション部門、栄養管理部門、事務部門

■共催：京都府病院協会・京都私立病院協会 お問い合わせ：京都病院学会事務局
 ■後援：京都府・京都市・京都府医師会 Tel.075-354-8838 Fax.075-354-8802



病院長研修のご案内

平成25年度は 社会医療法人財団 慈泉会相澤病院 を見学

毎年恒例の「病院長研修」ですが、今年度は長野県松本市にある、社会医療法人財団慈泉会 相澤病院を見学します。相澤病院は、地域における中核病院として積極的に取り組まれており、地域医療連携等について意見交換をさせていただくとともに、2013年秋にオープンする先進がん治療のひとつ「陽子線治療センター」を見学させていただきます。会員病院の先生方におかれましては、是非、ご参加をいただきますようご案内いたします。

見学日時：平成25年11月1日(金)～2日(土)